

第7章

施策全体のまとめ

Vision

- | | | |
|---|---------------------|-----|
| 1 | 各施策の年次計画 | 101 |
| 2 | 光市水道光合成プランベンチマーク2.5 | 103 |
| 3 | フォローアップ体制の確立 | 105 |

1 各施策の年次計画

施設維持計画

- 1 経年水道管の解消
- 2 クリプトสปориジウム対策のUV照射施設の構築
- 3 地下水脈調査の実施
- 4 既存水道管・新設管の耐震化の推進
- 5 取水・ろ過・沈殿施設の更新計画策定
- 6 鉛製給水管使用分布図の作成
- 7 鉛製給水管分岐配水管の布設替え
- 8 給水エリア内未普及地域の解消
- 9 直結給水の利用促進

災害対策及び維持管理計画

- 10 給水拠点マップの作成
- 11 各種備蓄品の適正管理
- 12 災害時における関連団体との連携強化
- 13 漏水事故を未然に防ぐための定期的な施設点検
- 14 マッピングシステム導入の検討
- 15 修理業者の技術力の向上と監督・指導体制の強化
- 16 貯水槽水道への定期的な検査の実施

環境対策及び水質保全計画

- 17 水源涵養林取得に向けた審議会の立ち上げ
- 18 水源涵養林に対する意識啓発活動の強化
- 19 島田川流域施設マップの作成
- 20 島田川巡視マニュアルの作成
- 21 流域クリーンアップの開催
- 22 一年を通じての残留塩素0.2以下、水温20℃以下の達成
- 23 公用車の低燃費化
- 24 効率的なポンプ運転

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
1 経年水道管の解消					実施					
2 クリプトสปориジウム対策のUV照射施設の構築	検討		実施							
3 地下水脈調査の実施		検討			実施					
4 既存水道管・新設管の耐震化の推進					実施					
5 取水・ろ過・沈殿施設の更新計画策定		実施								
6 鉛製給水管使用分布図の作成	検討				実施					
7 鉛製給水管分岐配水管の布設替え					実施					
8 給水エリア内未普及地域の解消					実施					
9 直結給水の利用促進					実施					
10 給水拠点マップの作成	実施									
11 各種備蓄品の適正管理					実施					
12 災害時における関連団体との連携強化	実施									
13 漏水事故を未然に防ぐための定期的な施設点検					実施					
14 マッピングシステム導入の検討	検討					導入				
15 修理業者の技術力の向上と監督・指導体制の強化	検討					実施				
16 貯水槽水道への定期的な検査の実施	検討				実施					
17 水源涵養林取得に向けた審議会の立ち上げ	検討	設置・検討			森林取得					
18 水源涵養林に対する意識啓発活動の強化		啓発活動				涵養林維持管理・啓発活動				
19 島田川流域施設マップの作成	検討	作成								
20 島田川巡視マニュアルの作成	検討・作成					実施				
21 流域クリーンアップの開催	検討					実施				
22 一年を通じての残留塩素0.2以下、水温20℃以下の達成	検討					実施				
23 公用車の低燃費化						実施				
24 効率的なポンプ運転						実施				

平成 20 年度～平成 29 年度

サービス向上計画

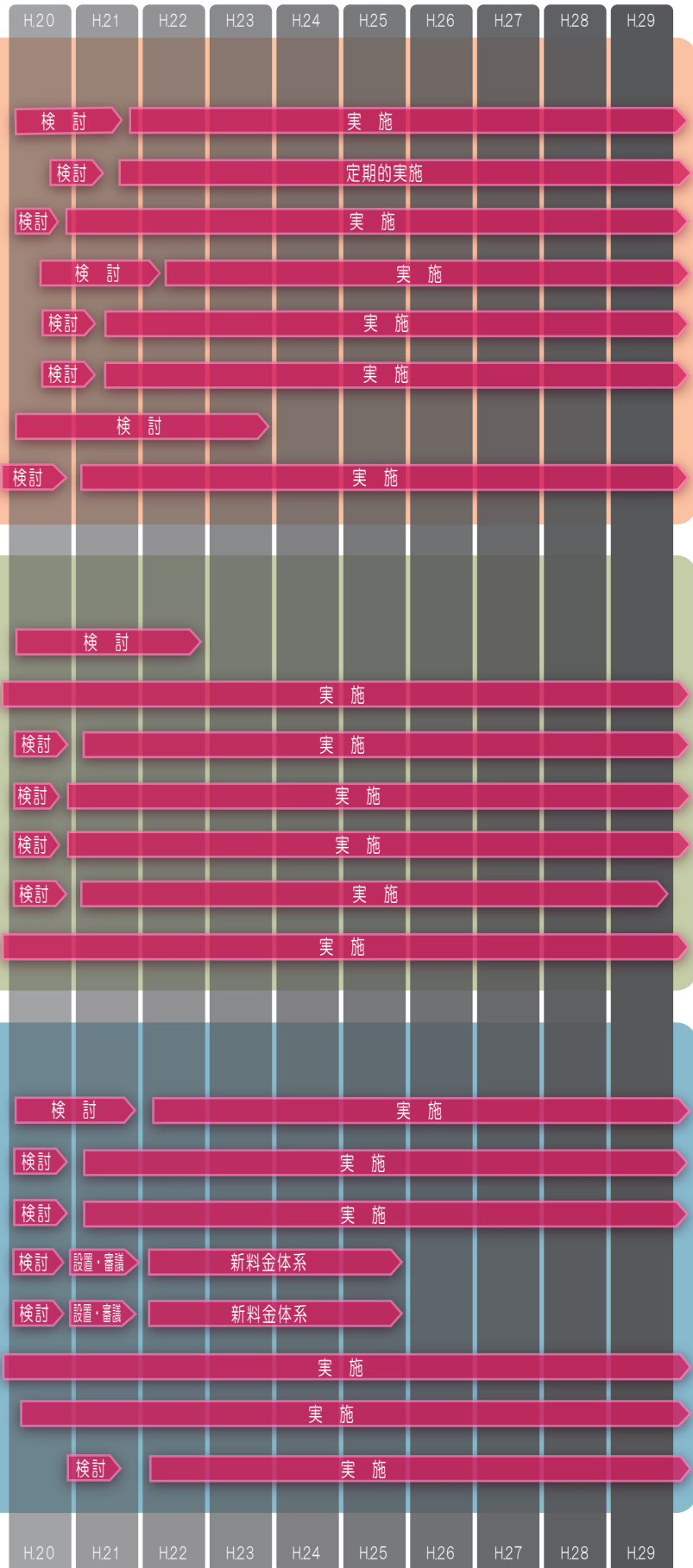
- 25 直接飲用度アップ作戦の実施
- 26 定期的なアンケートの実施
- 27 お客さま意見簿の設置
- 28 独自広報誌の作成
- 29 ホームページの充実化
- 30 施設見学の定期的実施
- 31 料金支払方法の選択肢拡大の検討
- 32 下水道使用料金の同時徴収の実施

経営基盤強化計画

- 33 光市水道事業に適した経営形態の模索・検討
- 34 光市水道局独自採用の堅持
- 35 適材適所の人員配置の実施
- 36 民間の主催する研修会への積極的参加
- 37 内部研修会の定期的実施
- 38 施策達成に向けた機構改革の実施
- 39 適正な人員管理

財政適正化計画

- 40 建設改良事業における自己資金の使用
- 41 適正な減価償却費の計上
- 42 計画的な修繕引当金の計上
- 43 水道料金審議会を設置
- 44 使用者の負担の明確化
- 45 給水サービスの低下を招かないコスト削減の取り組み
- 46 各施策達成のための財政措置
- 47 公共的必要余剰額 80,000 千円の達成



光市水道事業の
市民アンケート
光市水道事業の
目指すべき方向性
ビジョンの全体像
施設維持計画
災害対策及び
維持管理計画
環境対策及び
水質保全計画
サービス向上計画
経営基盤強化計画
財政適正化計画
施策全体のまとめ
資料編

2 光合成プランベンチマーク25

	ベンチマーク設定項目	単 位	平成 20 年度	平成 24 年度	平成 29 年度	該当 頁数
施設維持計画 1	経年化管路率	[%]	37.0	33.0	29.0	P.40
施設維持計画 2	管路の耐震化率	[%]	15.0	23.0	32.0	P.42
施設維持計画 3	鉛製給水管率	[%]	24.0	21.0	17.5	P.44
施設維持計画 4	直結給水率	[%]	94.5	95.0	96.0	P.46
災害対策及び 維持管理計画 5	災害時必要水量確保率	[%]	15.0	20.0	30.0	P.52
災害対策及び 維持管理計画 6	断水時間	[時間]	0.05	0.03	0.01	P.55
災害対策及び 維持管理計画 7	バルブ点検率	[%]	10.0	10.0	10.0	P.56
災害対策及び 維持管理計画 8	貯水槽水道指導率	[%]	25.0	50.0	50.0	P.58
環境対策及び 水質保全計画 9	取水量 1 m ³ 当たりの水源 保全及び維持管理投資額	[円 / m ³]	0.0	1.5	0.6	P.63
環境対策及び 水質保全計画 10	給水栓年間 残留塩素平均値	[mg / L]	0.20	0.20	0.20	P.67
環境対策及び 水質保全計画 11	給水栓年間水温平均値	[°C]	20.0	20.0	20.0	P.67
環境対策及び 水質保全計画 12	配水量 1 m ³ 当たり 消費エネルギー	[MJ / m ³]	1.20	1.15	1.10	P.69

平成 20,24,29 年度

	ベンチマーク設定項目	単 位	平成 20 年度	平成 24 年度	平成 29 年度	該当 頁数
サービス向上計画 13	直接飲用率	[%]	57.9	70.0	80.0	P.72
サービス向上計画 14	アンケート回収率	[%]	48.8	50.0	60.0	P.74
サービス向上計画 15	水道サービスに対する 苦情割合	[件 / 1,000 人]	1.0	1.0	0.5	P.74
サービス向上計画 16	水道事業に係る 情報の提供回数	[回]	10	20	30	P.76
経営基盤 強化計画 17	外部研修時間	[時間]	9.0	12.0	15.0	P.82
経営基盤 強化計画 18	内部研修会開催時間	[時間]	10.0	15.0	20.0	P.82
経営基盤 強化計画 19	職員一人当たり 給水戸数	[戸 / 人]	600.0	665.0	680.0	P.85
経営基盤 強化計画 20	職員給与費割合	[%]	34.6	30.0	29.5	P.85
財政適正化計画 21	流動比率	[%]	130.0	150.0	200.0	P.91
財政適正化計画 22	修繕引当金率	[%]	60.0	100.0	200.0	P.91
財政適正化計画 23	自己資本投資割合	[%]	5.0	50.0	50.0	P.92
財政適正化計画 24	自己資本構成比率	[%]	25.0	30.0	40.0	P.96
財政適正化計画 25	経常収支比率	[%]	94.5	105.0	110.0	P.97

光市水道事業
のあゆみ

市民アンケート
の実施

光市水道事業の
目指すべき方向性

ビジョンの全体像

施設維持計画

災害対策及び
維持管理計画

環境対策及び
水質保全計画

サービス向上計画

経営基盤強化計画

財政適正化計画

施策全体のまとめ

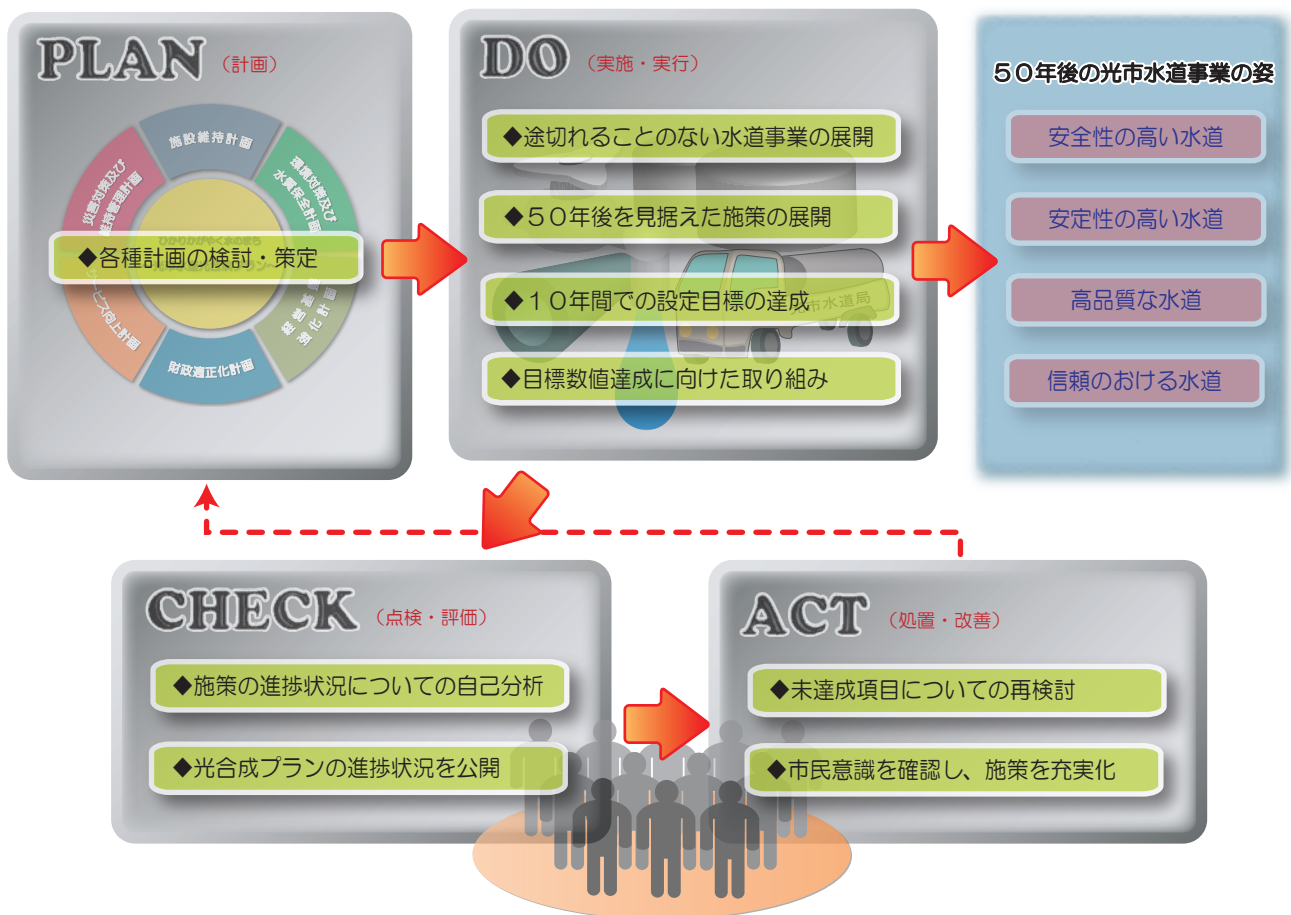
資料
編

3 フォローアップ体制の確立

「ひかりかがやく水のまち～光市水道光合成プラン～」の基本理念である「未来へ走り続ける光のライフライン」の達成に向けて、本ビジョンで掲げた実施・実行すべき施策を、定期的に点検・改善できる仕組みである、PDCA サイクルを構築することが重要であると考えています。

この PDCA サイクルの構築にあたり、「ひかりかがやく水のまち～光市水道光合成プラン～」では、施策の進捗状況を計るツールのひとつとして、「光合成プランベンチマーク 25」を設定しました。

これらを活用し、わたしたち水道事業者が実施状況を自ら分析し、点検することは当然ですが、数値化された情報をホームページや広報を通じて第三者へ提供し、市民の理解と協力を得て、柔軟かつ能動的な施策の処置・改善を行うことにより、「未来へ走り続ける光のライフライン」達成に向けて邁進していきます。



◆ PDCA サイクル

計画 (PLAN)、実施・実行 (DO)、点検・評価 (CHECK)、処置・改善 (ACT) からなり、最後の ACT を PLAN に結びつけ、これをらせん状に繰り返すプロセス。